

ひかりのこ

12月園便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2024年11月22日

月主題：共に喜ぶ

「神さまでつながっている」

先週の土日を使って、仙台に住む息子夫婦に生まれた、赤ちゃんに会いに行ってきました。私たち夫婦にとって4人目の孫です。札幌に住む子どもたちと違って、なかなか教会の礼拝に足が向かない息子たちですので、一緒に聖公会の仙台聖フランシス教会の礼拝を訪ねました。事前に赤ちゃん出産の祝福もお願いしていました。

仙台の細い道路をレンタカーでやっとたどり着いた聖フランシス教会は、隣にかわいらしい幼稚園がある、こじんまりとしたとてもきれいな教会でした。初めて訪ねる私たちを、皆さんで温かく迎えてくださり、早速、誕生の感謝の礼拝を皆さんでしてくださいました。大きな声で泣く孫の声すら、皆さん目を細めてくださっていました。温かな礼拝に、どんなに離れていても、初対面でも「私たちは神様でつながっている。」と感じました。

さて、もう少しで12月。聖ミカエル教会も、幼稚園も、クリスマスに向け準備をしていきます。幼稚園は12月20日（金）の降誕劇に向けて、準備をしていきます。年長のすずらんさんは大切なお役をもらって、長いセリフやお歌を覚えます。年中のひまわりさんは聖歌隊。年少のこすもすさんは羊さんのお役です。みんなイエス様がお生まれになった日を喜びでお祝いします。保護者の皆様、是非一緒に礼拝を捧げましょう。また、この日は、戦争や、貧困で命を落とす子どもたちがいなくなりますように、と世界中の子どもたちのお祈りもします。

また、教会では、12月24日（火）午後7時より、クリスマスイブ礼拝を行います。キャンドルの明かりの下で、聖歌を歌ったり、聖書のお話を聞いたりします。とてもすてきな礼拝ですので、是非いらしてください。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「倣う」

子ども達は色々な遊びを通して成長します。大人の真似をして遊ぶ「おままごと」や「お店屋さんごっこ」も昔からの定番の一つです。「牧師ごっこ」や「お坊さんごっこ」というものもあるようです。こうした大人の行動を「まねる」のは多くの生物に共通する行動です。やがて独りで生きていけなくてはいけない野生動物たちは特に、狩りの仕方、寝床の作り方、住処の選び方などあらゆることを親の姿をまねることを通してできるようになっていきます。

「倣う」は「ならう」と読みますが、「習う」が人に教えをうけて学ぶ行為であるのに対して、「倣う」はお手本となる人の「まね」をすることを意味します。子ども達は「習う」ことよりもまず「倣う」ことを自分から始めて、自分なりに大人のしていることを学ぶものです。しかも、自分の体が小さな子どもであるという認識を超えて、等身大の大人になった自分の姿をイメージしながら、同じような行動をとることもしばしばです。大人である私たちの行動が子ども達に真似をされても恥ずかしいものでないようにつけたいものです。

“ ですから、神に愛された子どもとして、
神に倣う者となり、愛の内に歩みなさい ”

エフェソの信徒への手紙5章1-2節

チャブレン 司祭 上平 更

